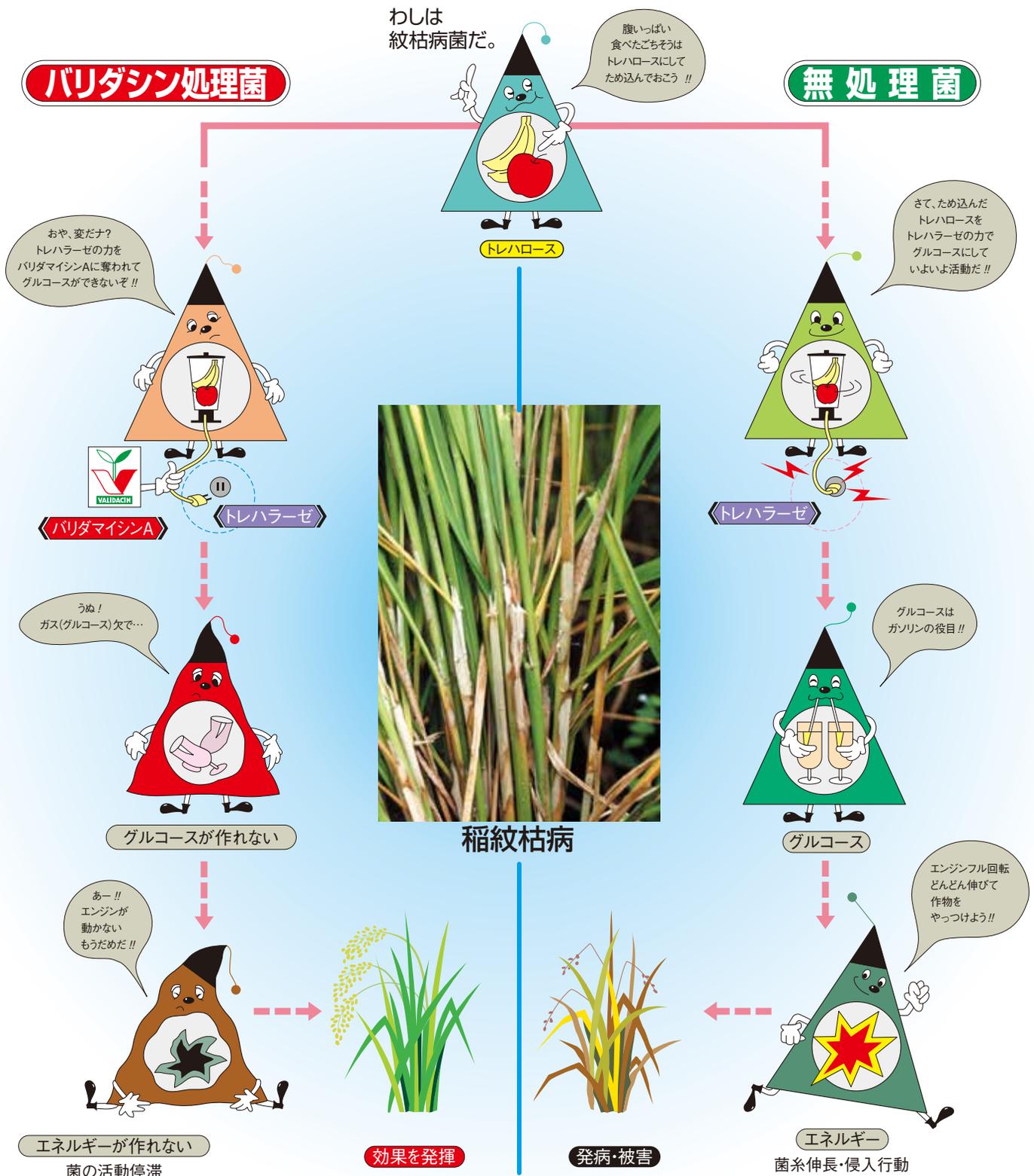


稲紋枯病防除に

バリダシン[®]粉剤 DL

バリダシンは住友化学(株)の登録商標

バリダシンのユニークな作用性



稲紋枯病に

バリダシン[®]粉剤 DL

有効成分：バリダマイシンA…0.30%

特長

- 紋枯病菌の菌糸生育を、ユニークな作用機構(糖代謝系酵素阻害)で停滞させて、病原力を喪失させます。
- 特に病勢伸展阻止効果が強く、安定した効果を発揮します。

■適用病害と使用方法

2020年4月現在の登録内容

作物名	適用病害名	使用量	使用時期	総使用回数*	使用方法
稲	紋枯病 疑似紋枯症 (赤色菌核病菌 褐色菌核病菌 褐色紋枯病菌)	3~4kg/10a	収穫14日 前まで	本剤：5回以内 バリダマイシン：6回以内(※1)	散布
だいこん	亀裂褐変症 (リゾクトニア菌)	20kg/10a		4回以内	株元散布
いぐさ	紋枯病	3~4.5kg /10a	—	—	散布
ばれいしょ	黒あざ病	種いも重量 の0.3%	植付前	本剤：1回 バリダマイシン：7回以内(※2)	種いも粉衣

*収穫物への残留回避のため、本剤および有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

※1：育苗箱灌注は1回以内、本田では5回以内
※2：種いもへの処理は1回以内、植付後は6回以内

⚠ 使用上の注意事項(抜粋)

- 飛散を少なくするように製剤されており、一般の粉剤に比べ、見かけ比重がやや大きく、流動性がよいので、散布の際は散粉機の開度を一目盛程度しぼって散布してください。
- さく(秀芳の力等)には薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意して散布してください。
- 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は農薬用マスクなどを着用してください。作業後はうがいをするとともに洗眼してください。

■稲に使用する場合

- 株元、葉鞘部に対しても散布むらのないよう全体に均一に散布してください。
- 紋枯病に対する本剤の防除適期は、病斑の上位葉鞘への進展初期の頃なので、病斑の進展を確認してから適期に散布してください。

■ばれいしょの種いも粉衣処理に使用する場合

- 植付前に本剤の所定量を適当な容器の中で均一に粉衣してください。
- 切断した種いもは、切断面が乾いてから処理してください。
- 本剤で処理した種いもは、食料や動物飼料として用いないでください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場などに放置せず適切に処理してください。

02R4D20B60:Z

2020年4月作成(全農教)

大地のめぐみ、まっすぐ人へ
SCG GROUP

 住友化学

〒104-8260 東京都中央区新川2丁目27番1号

お客様相談室 0570-058-669

農業支援サイト  農力 <https://www.i-nouryoku.com>

